

はじめに

平成 18 年 3 月に策定した第 1 次唐津市総合計画においては、基礎自治体として、持続可能な体力をつけるための施策を展開し、新市の一体感の醸成と、均衡ある発展、地域福祉の向上を図ってきました。

一方で、平成 26 年 5 月に日本創生会議が公表した人口の将来推計に端を発し、全国的に人口減少問題がクローズアップされ、国においては、まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略が平成 26 年 12 月に閣議決定され、地域の特性に応じた地域課題の解決など、待ったなしの課題に対応した政策が進められています。

そのような時代において、第 2 次唐津市総合計画は、これまでの取り組みの成果を生かしながら、本市の人口減少がもたらす事象を重要な課題と捉えるとともに、今後の社会情勢の変化を見据え、市民、地域との連携により、本市の均衡ある継続的な発展と新たな時代に対応した魅力的な「唐津」を創造することを目的に策定いたしました。

これからのまちづくりについては、第 1 次計画の基本理念である「響創のまちづくり」を引継ぎ、さらに進化させていくため、『市民力・地域力によるまちづくり』を基本理念に掲げました。

すべての市民が誇りを持って、自らの知恵と工夫で地域の課題を解決しようとする積極的な自主自立の意識をもった取り組みを促し、市民社会組織を中心として企業や関係団体等との総合的な連携に繋げたまちづくりを進めていきます。

また、目指すべき都市像としては、本市の持つ自然環境や立地、生活環境を最大限に活かして、若い世代が将来にわたり住みたいと思い、そして誰もが住みよいと思うまちづくりを展開していく意志を込め、『海と緑にかこまれたこちよい 唐津』を掲げました。

これからの市政においては、人口減少を克服しつつ、一人ひとりが安心して、こちよく暮らせることが最も基本的なことであり、地域への愛着や魅力を感じ、次世代へ引き継いでいこうとする意欲あふれたまちを実現していきます。

最後に、本計画の策定にあたりましては、唐津市総合基本計画審議会をはじめ、9 つの地域審議会やパブリックコメントなどを通じて多くの市民の皆さんとこれからの新しいまちづくりについて真摯な議論を重ね、反映することができました。心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

唐津市長 坂井 俊之